

第5回選定委員会議事録

令和6年7月31日(水)

【技術分野】

◇委員長 技術分野の調査研究報告をお願いします。

◇調査員 まず、東京書籍の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点③、第3の観点⑥

第4の観点⑧、第5の観点⑩

特徴があると思われる観点は、第1の観点、第2の観点、第5の観点である。

第1の観点について。1ページの目次。内容A～Cの第3章及び内容Dの4章の最初の項に「技術の最適化」という項目があり、その項の冒頭に工夫がこらされている。例として1つ見る。72ページ。冒頭の3コマの絵の中で、生活の中で直面する問題に対する「つぶやき」が記載されている。このことにより、これまでの学習を振り返らせ、自分の問題解決と社会における問題解決について考えさせることができる。

第2の観点について。12ページ。P12～P25の技術分野のガイダンス「技術の見方・考え方」の中に、「技術の最適化」について1ページ分の漫画を掲載している。このことにより「製品が、社会科からの要求・安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていること」について理解をしやすいになっている。

第5の観点について。4ページ。教科書のページの右上には二次元コードがある。生徒はタブレット端末のカメラ機能でそれを読み込むことができ、必要なコンテンツを選ぶことで主体的に学習を進めることができる。4ページにはコンテンツの種類が8種類示されているが、「動画」や「図鑑」は道具の使い方を知りたい時、「思考ツール」や「ワークシート」は考えを整理したいとき、「シミュレーション」は電気の流れや機械の動きについて理解したい時に使える。本書は利用できるデジタルコンテンツが大変豊富に掲載されている。このように豊富でさまざまな種類のコンテンツを取り揃えていることにより、その日の授業の用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習を実現させることができる。

教育図書の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑥

第4の観点⑧、第5の観点⑨

特徴があると思われる観点は、第1の観点と第3の観点である。

第1の観点について。2ページの目次。内容A～Cの第3章及び内容C第4章は「社会の発展と〇〇の技術」という標題となっている。そしてこの各項の冒頭部分を見るために66ページ。「技術のプラス面とマイナス面」という見出しで、これまでの振り返り、世の中の技術の役割や技術が与える影響、社会におけるプラス面とマイナス面を見極めることを促す記述や生徒のつぶやきが掲載されている。このことにより、世の中の技術の役割や技術が与える影響、社会におけるプラス面とマイナス面を考えさせることができる。

第3の観点について。68ページ。「やってみよう」のページに、ここまで学んできた内容について整理し、もう一度考えるワークシートが掲載されている。そして246ページ。「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を組み合わせて開発された、新たな技術（ピーマンの自動収穫ロボット）等、具体例をあげて掲載している。そして250ページ。「将来のあなたへ」において技術関係の専門高等学校へ進んだ先輩からのメッセージや、「日本の技術を支える人々の想い」として、さまざまな分野の日本文化とそれを支える人々について掲載している。日本の社会の将来と自分の将来について考えるきっかけが作られている。これらのことにより、これまでの学習を踏まえ、技術の上手な活用法や新しく開発したい技術、これから技術とどのように向き合っていくものかを考えさせることができる。

開隆堂の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑥

第4の観点⑧、第5の観点⑨

特徴があると思われる観点は第3の観点と第5の観点である。

第3の観点について。303の次のページ。「命を守る防災、医療・介護の技術」において、今社会で使われている技術について3ページ分で紹介しており、気象衛星ひまわり9号が災害規模の予測や対策に役立っている事実が記述されている。またその裏面の「技術による問題の解決を考えよう」の欄で、社会が抱える問題とそれを解決しようとする新しい技術の具体例を紹介している。

第5の観点について。120ページ。「小学校や他教科とのつながり」をもたせるために「他教科」「小学校」マークを示し、ほかの学習項目や家庭分野との関わりがあるところを示している。いろいろな分野と関連をもたせながら学習を進めていくことで、振り返ったり違う角度から物を見たりすることができ、学習をより深めることができる。

以上で技術分野の教科書の説明を終わる。

- ◇委員長 委員から質問はあるか。
- 東書、第5の観点。8種類のコンテンツについて。二次元コードが、思考ツールやその単元に特化したものを操作しながら理解が深まる工夫が盛り込まれている。このような工夫は、他社にはあったか。東書のもので実際の学習活動に於いて使い良いということか。
- ◇調査員 そうである。
- ◇委員 第2の観点。課題提示の仕方等を見ると、思考力を養うことは適しているか。
- ◇調査員 そうである。資料の提示の仕方等も、そのようになっている。
- ◇委員長 技術の見方・考え方を学ぶという点は、教科の特質として、重要である。これをより明確にしているのが東書という捉えで良いか。
- ◇調査員 そうである。「技術の最適化」について取り上げ、技術に関わるあらゆる視点から物事を考えることができるようになっている。
- ◇委員長 技術ならではの見方・考え方を学ぶことは教科の思考力として重要であるので、教科書の作りとしてこの点が強調されているのは良い。
- ◇委員 第5の観点。東書は、他教科とのつながりが分かるような工夫は無かったか。
- ◇調査員 分かりやすく表示しているか、そうでないかの違いである。東書も他教科とのつながりはある。
- ◇委員 分かった。

【家庭分野】

- ◇委員長 家庭分野の調査研究報告をお願いします。
- ◇調査員 東京書籍の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。
- 第1の観点①、第2の観点④、第3の観点⑤
第4の観点⑦、第5の観点⑩
- 特徴があると思われる観点は、第2の観点、第3の観点、第5の観点である。
- 第2の観点について。6ページ。ここでは「家庭分野の学習の進め方」において、課題設定→計画→実践→評価→改善→次の課題を挑戦、という流れを見開き2ページで示しており、生徒の学習への意識付けができるようになっている。また教科書全体の構成としても、例えば食生活の分野についてピックアップすると29ページに課題設定（右下に各自が書き込む欄）、62・63ページで計画の流れ、84・85ページで実践評価（右下に各自の振り返りチェック欄）、276ページで次の

課題へ挑戦、と流れが自然にできており、ゴールを見据えた学習を実現することができるようになっている。

第3の観点について。189ページ。「学習のまとめ」の「3. 生活に生かそう」(主体的に学習に取り組む態度)ではこの第4編で学習したことをもとに、自分の生活を見直して自分の家庭生活をよりよくする方法を記述するようになっている。このことは第1から3編・第5・6編においても設定されている。家庭分野の問題解決的な学習である「生活に始まって生活に返す」ことがしっかりと示され、生活の課題を実践へとつなげることができるようになっている。

第5の観点について。4ページ。学習内容を定着・深化したり、家庭での実践に役立てたりできるデジタルコンテンツが大変豊富に掲載されている。コンテンツの種類が8種類示されているが、生徒はタブレット端末でこのような様々なコンテンツを利用することができる。すぐ右の5ページ。例えばハンバーグの調理実習のページには右上に二次元コードがある。カメラ機能で読み込むと、調理動画、ワークシート、その他いろいろなコンテンツを選ぶことができ、主体的に学習を進めることができる。料理を選ぶだけで食品群別摂取量が自動で計算・グラフ化されるなど活用にも活用できる。用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習を実現できる。

教育図書の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点①、第2の観点③、第3の観点⑥

第4の観点⑧、第5の観点⑨

特徴があると思われる観点は第1の観点と第3の観点である。

第1の観点について。12・13ページ。「実習は安全に取り組もう！」を巻頭に掲載し、けがや衛生面に気を付けて実習にとりくむためのポイントがまとめられている。13ページ右下の二次元コードを読み取ると、実習の注意点についてのワークも利用することができる。また、このページに載っている3つの実習の学習内容のページがすぐ分かるように、関連するページ数を記載している。このことにより、「けがや衛生面に気をつける」という基礎的基本的な知識及び技能の習得を、強く印象付け、実践につなげることができる。

第3の観点について。1ページ。「ガイダンス『つなぐ・つながる』×家庭分野」において、生活の営みに係る「見方・考え方」を「つながり」というキーワードを用いて説明している。またSDGsのことについての説明を掲載し、それ以降のページにおいて、「この学習はSDGsに関わるかどうか」という考え方が自然にできるようにしている。このことにより、人と人、私たちと生活、伝統、生活と環境

(SDGs) など意識した上で、家庭科を学び始めることができる。

開隆堂の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑤

第4の観点⑧、第5の観点⑩

特徴があると思われる観点は第3の観点と第4の観点である。

第3の観点について。237ページ。「考えてみよう」の欄を設定し、生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動につなげている。このページでは「ダイニングキッチンに置かれているもの」について改善点を話し合うという設定になっているが、その他のページでは「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」のコーナーもあり、学習した内容を家庭や地域での実践につなげることができる。

第4の観点について。265から287ページの右上部。紫色の「他教科」というマークがある。中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連がある場合について「他教科・他分野との関連マーク」を右ページ上部に示し、教科、分野、単元、題材概要を示している。これによって「消費生活・環境」の単元では、社会科の公民的分野や技術科の情報分野のどの部分と関連するのかが分かり、教科横断的な学習につなげやすくなっている。

以上で家庭分野の教科書の説明を終わる。

◇委員長 委員から質問はあるか。

8種類のコンテンツの設け方について、東書が優れているか。もう1つ、家庭の見方・考え方ができるようになる点についてはどうか。

◇調査員 東書の第3の観点。「生活に始まって生活に返す」が最も生徒に学んで欲しいところである。この点が東書にあり、家庭の見方・考え方に繋がるところである。

◇委員長 生活と関連付けて理解することは、家庭分野の本質的なものか。

◇調査員 家庭分野全般のものである。

◇委員 家庭分野はどの社についても第2の観点を特に優れた特徴として挙げていない。思考力の観点で見ると、どの社も特徴は無かったのか。

◇調査員 全社、その点についてはきちんと整理されている。どこかの社が突出はしていない。

◇委員 分かった。

◇委員 生活に直結して考えるという視点から、どの社がより優れているか。

◇調査員 それぞれの社で、内容を整理している。

◇委員 分かった。

- ◇委員長 内容の取り扱い方については、それぞれの社を見て判断するということになる。
- ◇委員 家族の扱いについて、東書は最後に来ている。順番の違いは、授業でどのように扱っていくのか。
- ◇調査員 各校でシラバスを作成するため、各校の実態に応じて扱うであろう。
- ◇委員 分かった。
- ◇委員長 どの章でも、どの順番で扱っても良いのか。
- ◇調査員 そうである。
- ◇委員長 目次の順に扱うのが一般的である。どう思うか。
- ◇調査員 そうであると思う。
- ◇委員 中学生としての家族の中の立ち位置を扱っている単元でもある。それを中1の始めに意識させるか中3で扱うかという違いはある。教師によっては、扱う順番が違うこともある。
- ◇委員 家庭分野の目標に忠実に、目次が組み立てられている点は特徴であると言える。
- ◇委員長 東書の編集の意図がよく分かるものになっている。
- 以上で調査研究報告を終わる。
- それでは審議に移る。
- 東書、第5の観点。「8種類のコンテンツ」の具体例が分かるようにする。
- が3つなのは妥当である。
- 教図、第3の観点。「『夢をかなえる技術』において、これまで学んだ技術を組み合わせられて開発された、新たな技術等具体例を挙げて掲載している。『将来のあなたへ』では、技術関係へ進学した先輩からのメッセージや『日本の技術を支える人々の想い』として、さまざまな分野の日本の技術とそれを支える人々について掲載している。」とする。
- ◇委員 「スキルアシスト」という別冊について。他社には無い特徴ではないか。
- ◇委員長 第4の観点。⑦のスキルアシストの内容を⑧の冒頭に加える。○を付けるか。
- ◇委員 もの作りの観点から、ここまでまとめられているのであれば、○があった方がよい。
- ◇委員長 では、○を付ける。
- 開隆堂、第3の観点。「気象衛星ひまわり」の技術の具体例を加える。
- 家庭分野の審議に移る。
- 東書、第2の観点。「課題解決の流れ」とする。
- 第3の観点。「家庭の見方・考え方」を強調できるようにする。
- 第5の観点。「8種のコンテンツ」を示す。「献立作成」の具体例を加える。特徴的な例を示す必要がある。

教図。

(なし)

開隆堂。

(なし)

調理実習の実例で言うと、どの社が優れているか。

◇委員 料理の種類は、東書である。

東書では、「備後がすり」が取り上げられている。

◇委員長 東書、第4の観点。「豊富に」を加える。

家庭分野の審議を終わる。

【外国語】

◇委員長 外国語をお願いします。

◇調査員 総合的な所見について教科書ごとに説明する。それぞれの観点ごとに特に特徴といえるものや、良いと考えられる番号を読み上げる。

東京書籍。

第1の観点①、第2の観点④、第3の観点⑤

第4の観点⑦、第5の観点⑩

特徴的な点は、第1の観点と第5の観点である。

開隆堂。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑤、

第4の観点⑦、第5の観点⑨

特徴的な点は、第2の観点、第3の観点、第4の観点である。

三省堂。

第1の観点②番、第2の観点③、第3の観点⑥、

第4の観点⑦、第5の観点⑨

特徴的な点は、第3の観点である。

教育出版。

第1の観点②、第2の観点③、第3の観点⑤

第4の観点⑦、第5の観点⑨、

特徴的な点はなし。

光村図書。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑤、

第4の観点⑦、第5の観点⑨

特徴的な点はなし。

啓林館。

第1の観点①、第2の観点④、第3の観点⑤

第4の観点⑦、第5の観点⑨

特徴的な点はなし。

6社の中から、特に特徴的であった3社の教科書について報告する。

この3社は、いずれも文字の大きさ・フォント・写真等のレイアウトが見やすい配置になっている。

「聞く」「話す」「読む」「書く」それぞれの領域を統合した活動が、各単元積み上げることができるように、教科書の構成に工夫が見られる。また単元終末の活動、学期に1回の活動が設定されている点が共通している。

本文の内容については、どの教科書も学校生活、日本文化、社会的事象等を、学年実態に合わせてバランスよく取り上げている。

3社の教科書全てに二次元コードがあり、デジタルコンテンツを生徒が活用できるようになっている。

東京書籍の「NEW HORIZON」について説明する。この教科書では第1の観点と第5の観点について取り上げる。

第1の観点「単元を貫く問いを設定し、単元の終末で振り返りを行うことができる」点については、1年生の教科書113ページ。単元の冒頭・教科書中央付近に「GOAL」が線で囲んで分かりやすく提示してある。その「GOAL」に対して、教科書120ページ単元の終末・教科書下部に「CHECK」として単元の目標が達成できたかどうかについて、生徒自身が振り返りを行うことができる仕様になっている。

第5の観点について、教科書の最後のページ。「CAN-DOリスト」は領域別、学年ごとに3年間の見通しがもてるように見開きで提示されており、大変分かりやすい。

また、1年生教科書140ページ。「Words Room」は絵入りで見やすいレイアウトとなっている。1年生教科書158ページ。「Expression List」はどの学年にもあり、各単元で学習した内容を、やり取り等の活動で活用しやすい仕様となっている。

開隆堂の「Sunshine」について説明する。

この教科書では第2の観点、第3の観点、第4の観点、「聞く」活動から「話す」

「書く」活動へつなげる等「領域を統合した活動の工夫」について取り上げる。3年生教科書8ページ。新出文法の導入がマンガ形式で構成されている。二次元コードを読み取ると、教科書同様のマンガがスライドで表示される。英語音声とともに英語表示の有無を選択できるので、自主学习に有効活用できる仕様になっている。

また、マンガが動画でも見ることができるので、アニメーションと音声で理解・確認できる。新出文法が、どのような目的・場面・状況で使われるのかを、会話の中で視覚的に音声とともに理解することができる。この構成は他の教科書には見られない特徴と言える。隣の9ページ。「聞く」活動から「話す」「書く」活動につながるよう構成されている。続いて10ページ。「Tuning in」では本文のテーマについて「話す（やり取り）」活動や関連した情報を「聞く」活動が設定されている。続く教科書11ページから13ページ。「Part 1」から「Part 3」では、新出文法が1ページずつ学習できるようになっており、授業者にとって扱いやすい構成と言える。このように本文理解と言語活動を同じページで扱っていない仕様は、他の教科書にはない特徴である。続いて教科書14ページ。「Review & Retell」では、単元の内容を振り返り、自分の言葉で伝える活動を設定している。こちらも他の教科書にはない特徴である。隣の教科書15ページ「Action」で、「読む」「書く」「話す」活動を通して自分の考えを他者と交流する内容となっている。1年生の教科書122ページ。「Power-Up」⑤では、インタビューを「聞く」活動からインタビューアになって相手にたずねる「話す」活動へつなげている。1年生の教科書140ページ。「Power-Up」⑥では、「読む」活動から「書く」活動につなげている。このように「Power-Up」ではいずれも場面を設定し、相手意識をもたせて英語で表現する構成となっている。同じく1年生の教科書135ページ。学期に1回の割合で設定されている「Our Project」は、冒頭の写真を見ればこの単元で何を学習するのかが分かる仕様になっている。教科書下部分に「GOALS」があり目標が具体的に示してある。二次元コードには本文が音声と動画である。本文の原稿がそのまま生徒のスピーチとして扱われているので、生徒は本文をモデル文として参考にできる。教科書136ページ。導入に本文を「聞く」活動を設定している。モデルを例示しており、マッピングやメモなどを活用しながら、自分の考えをスモールステップで英文にすることができるように構成されている。授業者にとっては、別途ワークシートを作成しなくても、教科書をそのまま活用することができるレイアウトになっている。2年生の教科書41ページから45ページ。ゴールが具体的に明確であり、生徒が見通しをもって学習できる点も特徴の1つである。モデル文の提示や完成までのステップの提示など、学習者への支援が工夫されている。このように、「聞く」活動から「書く」「話す」活動につなげており、4領域を統合した活動となるよう構成されている。本教科書では「話す」活動では「やり取り」を多く取り入れている点も特徴に挙げられる。全ての内容において「聞く」活動、音声から入るため、英語に苦手意識のある生徒にはハードルが低く、学習意欲を喚起させる構成といえる。

三省堂の「NEW CROWN」について説明する。

この教科書では第3の観点を取り上げる。「既習内容を活用した言語活動」が設定されている。1年生の教科書126ページと127ページ。「Take Action」ではそれまでの学習を活用して「聞く」「話す」といった言語活動が設定されている。

3年生の教科書21ページ。「Small Talk Plus」では、本文の内容と関連する話題で「話す」活動を設定している。中央付近にある「Tips」で会話を広げるヒントを、例文を交えて紹介している。3年生の教科書7ページ。単元の冒頭に、単元の内容に関する写真やイラストが充実して掲載してある点もこの教科書の特徴である。それらを活用して、英語で簡単な「やり取り」をする活動が導入となっている。

以上で説明を終わる。

- ◇委員長 委員から質問はあるか。
各社4領域を統合した活動になっている。開隆堂では特にその点の工夫が優れているという捉えで良いか。
- ◇調査員 良い。
- ◇委員長 開隆堂では、領域横断的な学習の工夫がなされていることが分かった。
- ◇調査員 始めに、「聞く」が必ず設定されている。
- ◇委員長 本文理解と言語活動を分けて扱っていることは、プラスに評価できるということか。
- ◇調査員 そうである。
- ◇委員 現行は、東書である。今回の〇の数は開隆堂。会社が変わっても、尾道の子供にとっては良いという捉えで良いか。
- ◇調査員 現行の教科書は、文章量がある。教材文が長いのではという意見もあった。
変化としては、1年生の119ページ。2・3年生の扱い方と同じになった。ユニットの終末に音と文字を結び付ける活動がある。今までは、別冊だったものが、教科書に盛り込まれた。現行の教科書のアクティビティが扱いやすかったが、それが、新しいものは無くなっている。
- ◇委員 尾道の子供たちの学力テストとの課題から見ると、文章量が多いことはどうなのか。
- ◇調査員 課題とは別の問題として、授業で扱う上で難しいということである。
- ◇委員長 全高学力・学習状況調査の結果から見た尾道の課題克服という視点ではどうか。
- ◇調査員 課題克服というよりは、苦手意識もっている子供への意欲喚起ということを考えると、開隆堂の聞く活動から始まる構成は評価できると考えた。
- ◇委員長 分かった。

- ◇委員 デジタル教科書における各社の工夫はあるか。
- ◇調査員 文法の扱いを見ると、東書では、会話の中で文法の説明をしている。開隆堂では、文字での説明になっている。
- ◇委員 コミュニケーションの中で英語を使う場面を増やしていきたい。そういった場合、どの社が優れているか。
- ◇調査員 開隆堂、3年生8ページ。ペアで対話をするようになっている。やり取りを意識した活動が多い。
- ◇委員 小学校との接続について、小学校で採択している教科書との関連を図りながら議論したか。
- ◇調査員 そういった点は、あまり考慮していない。東書「Words List」、イラストが減っているが、他社と比較すると使いやすい。
- ◇委員長 それでは審議に移る。

東書、第1の観点。教科書中央付近にゴールが分かりやすく提示しており、ゴールに対する単元末、生徒自身が目標の達成を振り返ることができる点を高く評価する。

第5の観点。「に学年ごとに3年間の見通しがもてるよう見開きで提示されており、分かりやすく」を加える。「Expression List」がどの学年にも設定されていることを加える。

開隆堂、第2の観点。「4領域を統合した活動が特に工夫されている」ことを加える。それぞれの活動の具体例を加える。

第3の観点。二次元コードを読み取って行う活動の良さを加える。

第4の観点。本文理解と言語活動を独立したページで扱っている点が優れていることが分かるようにする。導入に、本文を聞く活動を設定している点も高く評価できるということを加える。モデルを例示し、スモールステップで英文を構成できるつくりになっている点が高く評価できることも加える。

三省堂、第3の観点。話す・聞くが優れている点を加える。

小学校で英語に苦手意識をもった子供の意欲の喚起が期待できるという視点でいくと、開隆堂に変えるメリットがあると考える。

他に意見はないか？

以上で全ての審議を終わる。

全教科種目を通して意見があれば出してほしい。

審議報告書の公表はいつか。

- ◇事務局 9月以降である。

- ◇委員 地理は帝国、歴史は東書。分野によって教科書会社がちがっても良いか。歴史の教科書は、市民の関心も高い。育鵬社、自由社などについても、この場でどう議論したかを問われると思う。
- ◇委員長 どの事柄を、どのボリュームで取り上げるかということにも、歴史観が表れる。ただし、今回〇の付いた教科書については、議論の分かれるような問題点はないと考える。
- ◇委員 そのことをこの場で共通認識をもちたい。
- ◇委員長 尾道の子供にとっても、〇の付いたもの問題点はないという共通認識でよいか。
- ◇委員 (よい)
- ◇委員 3分野違う社のものを採択することになった場合、理由をきちんと説明できれば良いと思う。
- ◇委員 帝国の歴史。「タイムトラベル」は分かりやすく、特徴と言える。
- ◇委員長 最終的に歴史も帝国が選ばれる可能性もある。説明の時に、帝国のものも優れている点があることを伝える。
- ◇委員 公民。北方領土、天皇制などについては市民アンケートでの関心が高い。東書はバランスが良い。このことも共通認識をもっておきたい。
- ◇委員長 その点もこの場で確認する。
- ◇委員 道徳。日文の道徳ノートの評価が高かった。教育委員の中でも評価する声があった。今回は東書をより評価しているため、その辺りの説明も必要になる。
- ◇委員長 その点、承知した。
- 以上ですべての教科の種目についての審議を終わる。
- 事務局から、連絡事項をお願いする。
- ◇事務局 事務連絡